



しほろ

平成25年 2月 No.147

議会だより

■発行／土幌町議会 ■編集／土幌町議会広報特別委員会
ホームページアドレス <http://www.shihoro.jp/assembly/>



にぎわった「ほっぷ すてっぷ まんぶく」(1月25日・総合研修センター)

12月定例会

審議した議案ほか 2ページ

一般質問

「土幌町公式ホームページについて」ほか5件 ... 4ページ

中学生模擬議会 7ページ

かけ橋

「秋の叙勲 瑞宝単光章を受章して」
高徳 野々村 勝子さん 8ページ



「レシピコンテスト」

指定管理者の指定

- 学習体験の里（土幌高原又
プカの里）および国産材展
示施設（イ・ピリカ・チセ）
指定管理者
株式会社 佐藤土建
- 代表取締役 中村 将

指定期間

平成25年4月1日から
平成28年3月31日まで

■上居辺へき地保育所

- 指定管理者
特定非営利活動法人
上居辺地区へき地保育所
理事長 伊賀 勝彦
- 指定期間
平成25年4月1日から
平成30年3月31日まで

一般会計補正予算

歳入歳出の総額にそれぞれ
1億3839万円を追加し、
総額65億7639万9千円と
する補正予算を可決。

- 主な補正内容は次のとおり。
住宅用太陽光発電システム
導入事業助成金140万円

- 合併処理浄化槽設置事業助
成金 180万円
- 自立支援介護・訓練等給付
費 1138万円
- 土幌聖苑修繕料 31万円
- 失業対策事業（町有建物解
体工事） 767万円
- 農業体質強化基盤整備工事
8300万円
- 同調査設計委託料
2100万円
- プラザ緑風修繕料（厨房工
レベーター及び雨漏り修繕）
110万円
- プラザ緑風LPガス蒸発器
取替工事 100万円
- 公民館備品購入（ストーブ
2台） 24万円

補正予算質疑

問 公民館で購入するストー
ブはどの様なタイプのものか。
避難場所にもなっていること
から停電の時でも使えるよう
なストーブなのか。

答 今回は通常使用するもの
としてFF式ストーブを購入
するが、それ以外に防災用と
して今年5台、ポータブル灯
油ストーブを購入している。

選挙管理委員および 同補充員の選挙

任期満了に伴う選挙管理委
員及び同補充員の選挙は、指
名推薦により次の方々を当選
人と決定。

■選挙管理委員



佐藤秀勝さん
（新生）



河江信一さん
（吉野）



白木祐一さん
（中土幌新南）



山岸厚子さん
（佐倉南）

■同補充員

- 吉田 均さん（仲通）
- 波多野弘幸さん（開運）
- 嶋田 和子さん（旭南区）
- 今田 忠夫さん（百戸）

9月定例会以降の行政の経
過について、小林康雄町長か
ら報告がありましたので、要
約してお知らせします。

過 陳法適用外町村への支
援についての取組状況

平成22年4月から道内の過
陳法適用外9町村で、関係機
関への要請等を行ってきた。

今般、全国に呼び掛
け道外25町村から賛同を
いただき、11月に全国代
表者会議を開催。名称を「過
陳法適用外小規模町村連
絡会議」とし幹事長に選
任された。全国34町村で
活動をスタートし、今後
も支援要請活動に取り組
んでいく。

地 域医療等アドバイ
ザー契約締結

社会医療法人社団 即仁会
「医療経営研究所」（所長竹
内實氏）と契約を締結し、業
務に着手いただいている。地
域医療対策はもとより保健医
療福祉の連携、充実に向けた
助言等を3月までいただく。

行政報告

土 幌道路開通式
12月15日

平成20年度から事業に着手
した「国道274号別線ルート」
の供用開始に先立ち、新たに
架設された「土幌大橋」で開
通式典を挙行。

土幌道路の開通により市街
地等での事故回避が図られ、
物流の効率化や地域観光
の活性化に寄与し、さら
なる地域振興が図られる
ものと期待される。国道
241号交差点の機能も
活かした新しい拠点づく
りの検討を行っている。

プ レミアム商品券

夏・冬合わせて発行総
額約1億1300万円。
町内の商店、事業所等の
ほとんどの参加をいただ
き実施。消費がより一層活発
になることを期待する。

フ レッツ光
順次、サービス開始

高速大容量通信が可能とな
り、情報通信の利便性が大き
く向上するものと期待。

- 森本 真隆 議員 士幌町公式ホームページについて
- 清水 秀雄 議員 TPP(環太平洋経済連携協定)参加反対について
- 大西 米明 議員 障がい者の雇用について
- 飯島 勝 議員 指導者養成の取組について
- 細井 文次 議員 BSE(牛海綿状脳症)の検査緩和について
- 和田 鶴三 議員 水道料金の算定について

ホームページ

子供ページを開設しては

導入の方向で検討



議員 森本真隆

質問 町公式ホームページがリニューアルされて約9カ月経過するが、これまでの成果や課題をどのように分析し、今後どのような展開をしていくのか。

小林町長答弁 成果については、町民に役に立つ情報を増やし、税関係などの申請書や書式のダウンロードが可能となった。また、専門的な知識がない職員でもリアルタイムで更新作業ができることから、町からのお知らせ等の情報提供が増加した。今後、情報量が増加した。



職員が情報更新を行うHP
《町のHP <http://www.shihoro.jp/>》

TPP

今後の反対運動の 取り組みは 医療分野なども含めて幅広く進める

子供たちが自分の町を知り、学習し、住んでいる場所に誇りを持つような子供のページが必要と考える。

また、町外から来られたお母さんにも子供と一緒に家庭で子供ページを見てもらうことで、町の情報を知ってもら

うきっかけにもなる。管内の先駆けとなって子供ページを設けてはどうか。

小林町長答弁 本町は子育て支援対策を重点施策として進めている。ぜひ導入する方向で検討したい。



議員 清水秀雄

質問 野田首相は総選挙を目前にしてTPP交渉参加について前のめりの発言をしている。私はTPP交渉参加は絶対に許してはならないと考えているが、町長は今後の反対運動についてどう取り組むのか所見を伺う。

小林町長答弁 関係国との協議の動向を見据え、安全な食料の確保や地域の産業、経

済を守る世論を喚起するよう、町内はもちろん、十勝、北海道、全国規模での大規模な取り組みが必要と認識している。

質問 TPPが農業だけでなく国民生活全般に及ぶことが理解されていない。TPPの中身がどういふものか、勉強の機会を数多く開いていく必要がある。今後の反対運動についても医療分野の先生方にも参加してもらい幅広く運動組織を立ち上げていく必要があると考えるが。

小林町長答弁 学習会や講演会は今後も適切に開催する

平成24年 第4回定例会

一般質問

12月定例会では、6人の議員が一般質問にたち6項目について理事者の考えをただしました。内容を要約してお知らせします。



守ろう！土幌の基幹産業

よう関係機関と取り組みたい。全道的な取り組みの中では医師会、看護協会、福祉関係も含めて検討をしている。本町では農業振興対策本部を中心に商工会も含め反対運動を行っているが、今後は医療など関連の21項目にわたる影響等もしっかりとお知らせするとともに全町挙げての取り組みになるようにしていきたい。

障害者雇用

自立に向けた

体制づくりを

全体的な支援対策の中で検討



大西米明 議員

質問

①障害者雇用促進法に基づき、企業、公共団体に義務づけられている身体・知的障害者の雇用割合は、民間企業は1・8%、地方自治体など公的機関が2・1%、教育委員会が2・0%であるが、町の雇用率はどうなっているか。採用については、一般職員の採用時期に障がい者枠を設けて募集を行い、採用してはどうか。

②障がい者の自立支援に向け、就労の場となる就労継続支援A型事業所の誘致に力を入れてはどうか。

小林町長答弁

①雇用率は一般で2・45%、教育委員会部局で5・45%で、法定雇用率を上回っている状況にある。

障がい者を意識的に雇用していくことについて、全体的な役場の業務や設備、施設の状態等も勘案しながら検討していきたい。

②B型事業所を開設し1年を経過していないので、運営状況を十分に踏まえながら全体的な障害者支援対策の中で検討していきたい。

質問

自立するためには、通年雇用で働いて生活できる体制づくりが必要である。障がい者が地域の中でも自立し生活していけるよう町にA型事業所を造り、北十勝など広域に就労できる場所を提供してはどうか。

小林町長答弁

広域でということも考え各町、障がい者団



2階の使用に向け非常階段を整備するほのほのホーム（B型）

※「就労継続支援事業所」
通常の事業所に就職が困難な障がい者に就労機会を提供することもに、知識と能力の向上に必要な訓練などの障がい福祉サービスを提供することを目的とした施設。A型・B型2つの形態があり、A型は障がい者と雇用契約を結ぶ「雇用型」であり、B型は契約を結ばず利用者が比較的自由に働ける「非雇用型」である。

体、町内企業と協議をし、A型についても取り組みながら、障がい者の皆さんが町内で安心して生活できる地域づくりを積極的に推進していきたい。

指導者養成

スポーツ指導者の養成は

長く指導に当たれる人材を確保



飯島 勝 議員

質問 町づくり総合計画の中でスポーツの指導者養成と確保が急がれていると記載されているが、町はどのように取り組んでいるか伺う。

カ石教育委員長答弁 現在、指導者は教員をはじめ子供の保護者、地域住民などを含め139名いる。町では将来にわたり長く指導に当たれる人材を確保することにも、専門的な知識や技術を持った指導者の養成を目的として、スポーツリーダー養成講習会兼スポーツ少年団認定員養成講習会を受講する指導者に



コーディネーショントレーニング研修会

対し、受講料の助成を行っている。毎年数名が受講し、資格を持った指導者が増えている。

また、少年団活動や部活動の指導には、子供の意欲を引き出し、充実感や達成感を味わわせることが大切であり、そうした心の育成を大事にす

る指導者を、スポーツ少年団本部やスポーツ推進委員の研

修の場を通し育てていきたい。

BSE

検査月齢の緩和に反対

生産地として検査継続



細井文次 議員

質問 内閣府食品安全委員会は、BSE対策による米国産牛肉の輸入規制について、現在の月齢20カ月以下から30カ月以下に容認する案をまとめた。安全、安心を付加する上でBSE検査は重要であり、安易な基準の見直しは行うべきではないと考えますが、町長の所見を伺う。

検討されるべきものと考えます。緩和されることにより牛肉の消費低迷をきたし、肉牛生産に影響を与えるのではないかと危惧している。検査のあり方や輸入牛肉の月齢制限緩和などに関しては、安全、安心を第一に考えて、消費者や生産者など広く国民の理解を得た上で対応していくべきであ

小林町長答弁 食は生命の基本であり、安心して安全な食品をとることは心身の健康を維持するための根幹であり、安全性を最優先に



日本一の肉牛生産

り、安易な見直しは行うべきでないと考えます。国や道に対して多くの皆さんから意見を出示してもらえよう周知していきたい。

質問 BSEから感染するヤコブ病は大変恐ろしいものであると報告されているが、安全委員会ではリスクの差はあったとしても非常に小さいとし、人への健康影響は無視できるとの見解を示したことについてどのように思われるか。

小林町長答弁 食品については安全の基準が厳し過ぎるということはない。全頭検査が継続されるよう意見反映をしていきたい。

議会日誌

「10月」

- 3日 広報特別委員会
- 18日 広報特別委員会
- 道内市町村立高校振興対策協議会懇談会
- 21日 しほろ収穫祭
- 22日 士幌高校海外文化交流 出発式
- 24日 広報特別委員会
- 北十勝4町議会議員合同研修会

水道料金

水道料金の算定改善を

当面は現状の料金算定で



和田鶴三 議員

質問 水道料金の算定は、家事用、業務用は毎月検針されるが、営農用は3カ月ごとの検針で各月の使用量を均等として算定している。営農用区域内には単身者もいて、検針が毎月でないことから、実際より高い使用料になると苦情が出ている。

使用料は実際に使ったものに対して払うものであり、改善すべきと思うが。

小林町長答弁 本町

の水道料金は、水道事業給水管理条例に基づき徴収しており、8tまで1500円、4t以下は半額の750円になる。検針は、市街



家事用のメーター検針

地域は毎月、農村地域は3カ月ごとに行い、水量の確認をしている。3カ月ごとの検針で、実態からすると必ずしも高くなるわけではなく安くなる場合もある。毎月検針することがより正確ではあるが、年間で約100万円程の経費増になり、水道料金の値上がりにもつながることから、当面は現状の料金算定で対応していきたい。

中学生模擬議会

11月26日

中央中学校3年生56人による模擬議会が11月26日、議場で行われた。

生徒の中から38人が議員となり、前半・後半に分かれ議員席に座り、議事進行を行う議長も2人の生徒が交代で務めた。

当日は、定例会の一般質問と同様の形式で一般質問が行われ、11人の中学生議員が登壇。商店街の利用、町の農業、小学校の統廃合、町の災害に対する取り組みなど幅広い分野から一般質問が行われたのに対し、通常の議会と同様に町長、教育委員長、担当課長等から答弁が行われた。

また、答弁に対する再質問も行われ、行政に対する意見を述べた。

議員、議長となった生徒をはじめ、傍聴席から質疑応答の様子を傍聴した生徒たちは、模擬体験を通して議会や行政への理解を深めた。



「11月」

- 5日 十勝町村議会議員研修会
- 6日 道外先進地行政視察(第1視察団) 〓10日
- 11日 道外先進地行政視察(第2視察団) 〓15日
- 13日 町村議会議長会全国大会 〓15日
- 19日 議会運営委員会
- 21日 雨竜町議会視察来町
- 22日 全員協議会
- 26日 中学生模擬議会
- 28日 十勝圏複合事務組合議会定例会
- 十勝環境複合事務組合議会定例会

「12月」

- 3日 議会運営委員会
- 5日 士幌高校海外文化交流団帰町報告会
- 7日 第4回定例会 〓12日 全員協議会
- 総務文教常任委員会
- 産業厚生常任委員会
- 広報特別委員会
- 11日 産業厚生常任委員会陳情現地視察
- 12日 国道274号線別線ルート開通式
- 15日 国道274号線別線ルート開通式
- 20日 北十勝2町環境衛生処理組合議会定例会
- 21日 北十勝消防事務組合議会定例会



かけ橋

秋の叙勲 「瑞宝単光章」を受章して

士幌町 高徳 野々村勝子さん

この度、秋の叙勲で瑞宝単光章という、身に余る章をいただき、今は素直にうれしく思っています。

このお話を頂いたのが、昨年の2月上旬頃だったと思います。社会福祉関係に20年以上勤め、功労のあった人、ということでした。

「私は27年間、特別養護老人ホームに勤めさせていただきましたが、功労の部分は大きな疑問符があります」という話をさせていただきました。9月中旬ごろ、内閣府より内定通知が届きましたという連絡を受け、自分自身驚き、「本当に自分でいいの？自分は叙勲に値する人間なのだろうか？」等々、自問自答しながら日々

を送っていました。

老人ホーム退職者で構成している談笑会があり、その集いが10月下旬に行われました。

その時、皆様に伝えるべきか迷いましたが、ここに出席されている皆様にお世話になったので、一番先に伝えるべきかと思い、この受章の話をしました。

皆様は本当喜んでくださいます。自分は地元で伝達を受けようと思っていたのですが、仲間の皆様が異口同音に、道の伝達式と皇居へ行ってきたら背中を押して下さいだったので、道の伝達式に行ってきました。そして勲記、勲章の中身を知らば知るほど、本当に自分には身に余る章だと痛感して

います。

27年間勤めて、一番印象に残っているのは、老人ホームの新施設「ほほえみ」への引越でしょうか。

連日連夜、引越しの準備をし、多くの町民、町職員のお手伝いをいただき、事故もなく2日間で引越しを終えられたことが、今でも鮮明に思い出されます。

今は、社会保障や消費税増税など問題になっていますが、自分も福祉サービスを受ける年齢に近づいています。これからは、年金も含め、どう変わっていくのか不安もあります。今日一日を健康で過ごせたいと感謝しつつ日々を送っていきたいと思います。

議会のホームページを開設しています！

ホームページでは、議決結果、会議録、議会だより、議員名簿などを掲載しています。ぜひご覧ください。

《アクセス方法》

町のホームページのメニューから「士幌町議会」を選ぶか、次のアドレスでアクセスしてください。

<http://shihoro.jp/assembly/>

3月定例会を傍聴しませんか。

第1回定例会は、3月8日から開催を予定しています。

詳しくはチラシでお知らせしますので、皆様の傍聴をお待ちしています。



12月定例会の報告を中心に記事にしました。条例の改正や補正予算、選挙管理委員・補充員の選挙結果等々と、一般質問の要約をお届けします。また、かけ橋には特別養護老人ホームに長年介護員として勤められ、献身的な入居者への介護と施設の基盤づくりにより、秋の叙勲を受けられた野々村勝子さんにご寄稿いただきました。野々村さんは平成17年に定年退職されましたが、在職中は入所者やスタッフへの目配り、気配りを欠かすことがない方でありました。中学生の初めての模擬議会の様子も記事にしました。答弁に対する再質問や行政に対する意見もあり、有意義な経験になったようです。今後、読みやすい議会だよりの編集に取り組んでいきますので、ご意見・ご感想をお聞かせください。

飯島 勝